

25年度第2四半期(1-6月) 決算説明資料

2025年8月8日

株式会社タダノ

<特記事項>

- 本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。
- 需要、シェアの取り扱いについて：需要台数は当社推計にて10台単位に四捨五入、シェアは小数点以下を四捨五入しております。また、需要にはロシア国産、中国国産の中国市場向けは含んでおりません。

決算のポイント

- ✓ 売上高は増加、買収関連費用等による販管費増により、利益は減少

(単位：百万円)

	24年 1-6月		25年 1-6月		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
売上高	141,381	100%	164,791	100%	23,409	16.6%
営業利益	12,283	8.7%	8,855	5.4%	△ 3,428	△27.9%
経常利益	10,942	7.7%	6,426	3.9%	△ 4,516	△41.3%
親会社株主当期純利益	5,185	3.7%	4,289	2.6%	△ 895	△17.3%

設備投資額	2,255	3,302
減価償却費	2,490	3,141

※設備投資にはリース資産分を含んでおりません。

USD	152.3円	148.6円
EUR	164.6円	162.2円

損益計算書

(単位：百万円)

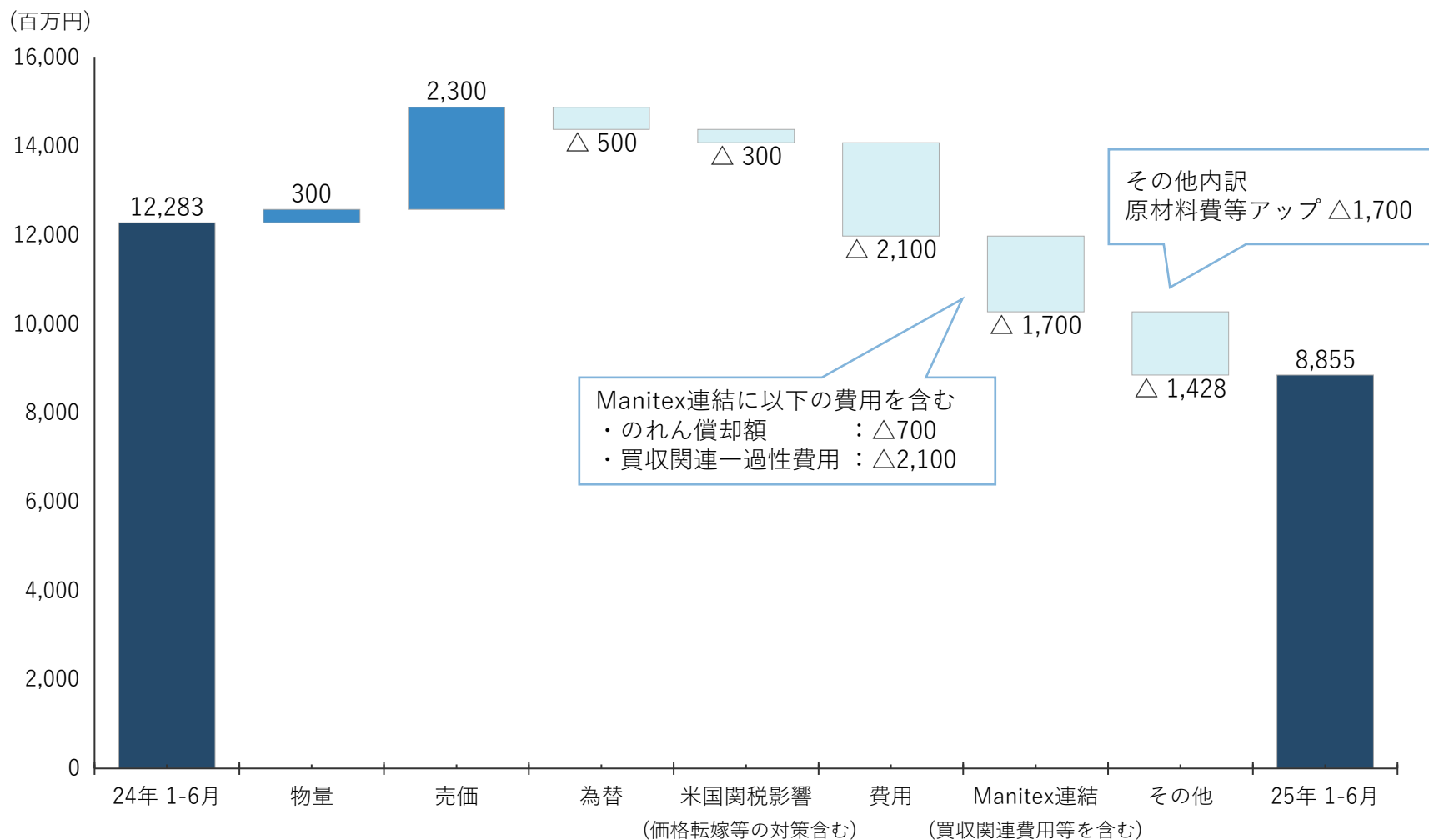
	24年 1-6月		25年 1-6月		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	141,381	100%	164,791	100%	23,409
売上原価	98,598	69.7%	120,223	73.0%	21,625
売上総利益	42,783	30.3%	44,567	27.0%	1,783
販管費	30,499	21.6%	35,711	21.7%	5,212
営業利益	12,283	8.7%	8,855	5.4%	△ 3,428
営業外損益	△ 1,340	△0.9%	△ 2,429	△1.5%	△ 1,088
経常利益	10,942	7.7%	6,426	3.9%	△ 4,516
特別損益	△ 694	△0.5%	※ 1,716	1.0%	2,411
税引前当期純利益	10,248	7.2%	8,142	4.9%	△ 2,105
法人税等	5,072	3.6%	3,796	2.3%	△ 1,276
非支配株主当期純利益	△ 10	△0.0%	56	0.0%	66
親会社株主当期純利益	5,185	3.7%	4,289	2.6%	△ 895

※25年1-6月の主な特別損益

- ・ Manitex社株式の段階取得に係る差益
- ・ 欧州における固定資産売却益

営業利益増減要因（前年同期比較）

- ✓ 買収関連費用を含む一過性要因やその他の費用増加により、営業利益は34億円減少



貸借対照表

- ✓ 米国関税影響への備えにより、手許資金・有利子負債が増加
- ✓ Manitex社買収により棚卸資産・固定資産・有利子負債が増加

(単位：百万円)

	24年 12月末	25年 6月末	増減
手許資金	93,125	117,753	24,628
売上債権	50,660	57,334	6,673
棚卸資産	138,020	148,257	10,236
その他	10,579	10,478	△ 101
流動資産計	292,387	333,823	41,436
有形固定資産	70,566	80,341	9,775
無形固定資産	5,470	18,504	13,034
投資その他の資産	34,999	18,780	△ 16,219
固定資産計	111,035	117,626	6,590
資産合計	403,422	451,450	48,027

	24年 12月末	25年 6月末	増減
仕入債務	41,645	41,946	300
有利子負債	122,473	164,712	42,239
その他	50,405	56,525	6,120
負債計	214,524	263,184	48,659
純資産計	188,897	188,265	△ 632
負債・純資産計	403,422	451,450	48,027

	24年 1-12月	25年 1-6月
売上債権回転期間	63.4日	63.0日
棚卸資産回転期間	172.8日	162.8日
自己資本比率	46.8%	41.3%

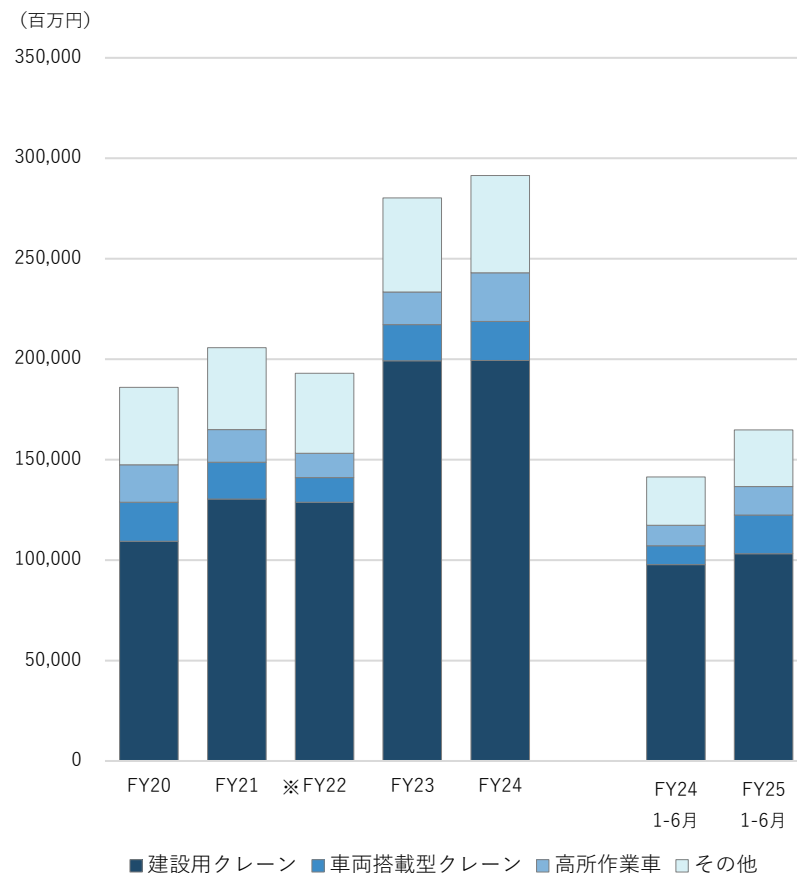
製品別売上高

✓ 全ての製品セグメントで増加

(単位：百万円)

	24年 1-6月	25年 1-6月	比較増減 金額	増減率
建設用クレーン	97,813	103,127	5,314	5.4%
日本	23,186	21,995	△ 1,190	△ 5.1%
海外	74,627	81,132	6,504	8.7%
車両搭載型クレーン	9,389	19,279	9,890	105.3%
日本	8,314	8,929	614	7.4%
海外	1,074	10,350	9,275	862.9%
高所作業車	10,133	14,123	3,989	39.4%
日本	9,473	11,473	2,000	21.1%
海外	660	2,650	1,989	301.3%
その他	24,045	28,259	4,214	17.5%
合計	141,381	164,791	23,409	16.6%

製品別売上高



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、
FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

地域別売上高

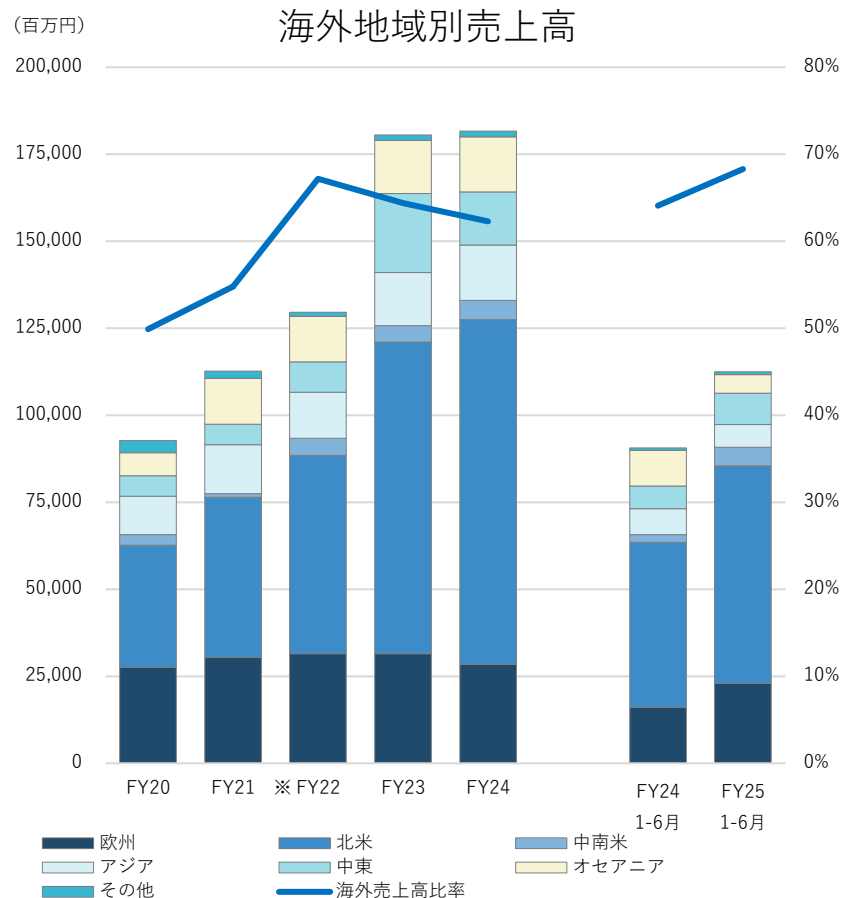
✓ Manitex社買収により欧州・北米を中心に増加、アジア・オセアニアは減少

(単位：百万円)

	24年 1-6月	25年 1-6月	増減 金額	増減率
欧州	16,176	22,990	6,814	42.1%
北米	47,329	62,497	15,167	32.0%
中南米	2,179	5,358	3,179	145.9%
アジア	7,510	6,447	△ 1,062	△14.2%
中東	6,466	9,084	2,618	40.5%
オセアニア	10,201	5,278	△ 4,923	△48.3%
その他	751	880	128	17.1%
小計（海外計）	90,614	112,537	21,922	24.2%
日本	50,767	52,253	1,486	2.9%
合計	141,381	164,791	23,409	16.6%

海外売上高比率	64.1%	68.3%
---------	-------	-------

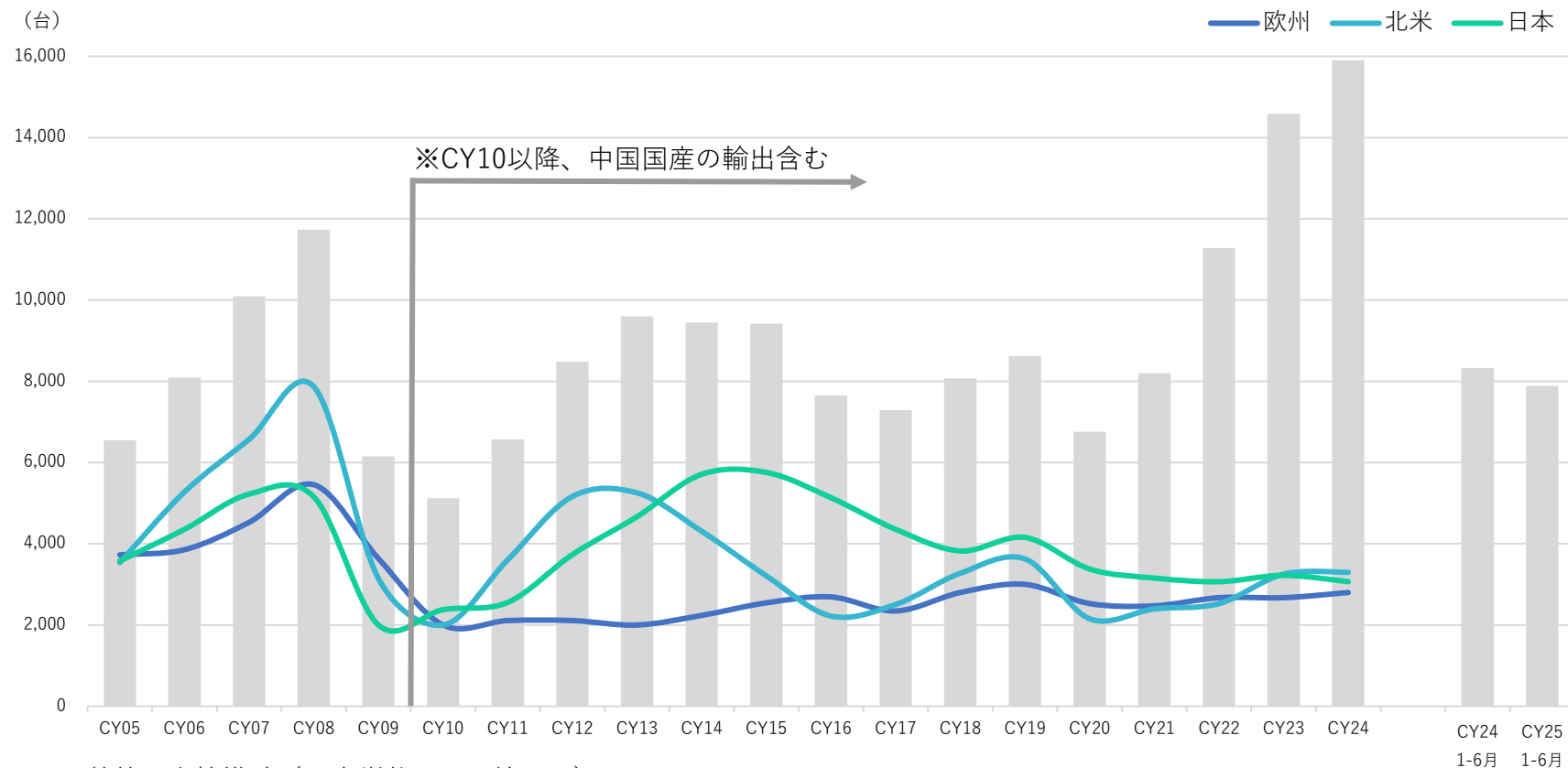
※売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。



※グラフには日本を含んでおりません。
 ※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。
 ※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、
 FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
 また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

建設用クレーンの世界需要推移（中国市場を除く）

折れ線は各市場の需要ボトムの基準年を1とし、各年の比率推移を表します。
（基準年 北米・欧州：2010年、日本：2009年）



※数値は当社推計（10台単位にて四捨五入）

※ロシア国産は上記に含まず

※CY10以降、中国国産の輸出含む

※中国国産の中国市場向けは上記に含まず。中国市場における中国国産の需要推移は次の通り

（千台）

CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	CY17	CY18	CY19	CY20	CY21	CY22	CY23	CY24
22	17	14	9	9	20	32	42	54	46	22	19	11

建設用クレーン(RT・AT・TC)

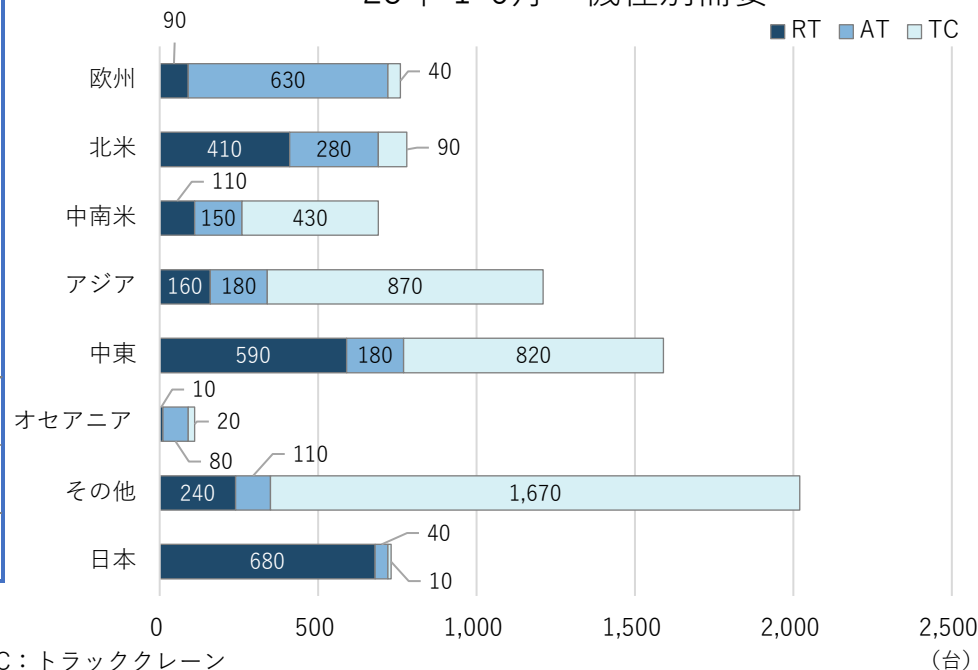
- ✓ 需要は欧州・アジアを中心に減少、合計約5%減
- ✓ 世界シェア 12% → 12%

	需要			シェア	
	24年 1-6月	25年 1-6月	増減率	24年 1-6月	25年 1-6月
欧州	870台	760台	△12.6%	7%	5%
北米	780台	780台	0.0%	38%	39%
中南米	710台	690台	△2.8%	1%	1%
アジア	1,390台	1,210台	△12.9%	6%	5%
中東	1,230台	1,590台	29.3%	6%	8%
オセアニア	120台	110台	△8.3%	36%	17%
その他	2,500台	2,020台	△19.2%	0%	0%
海外計	7,600台	7,160台	△5.8%		
日本	730台	730台	0.0%	59%	55%
合計	8,330台	7,890台	△5.3%	12%	12%



GT-1200XL

25年 1-6月 機種別需要



※ RT：ラフテレーンクレーン、AT：オールテレーンクレーン、TC：トラッククレーン
 ※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

車両搭載型クレーン

✓ Manitex社買収により、海外向け売上高が大幅増

〈地域別売上高〉

(単位：百万円)

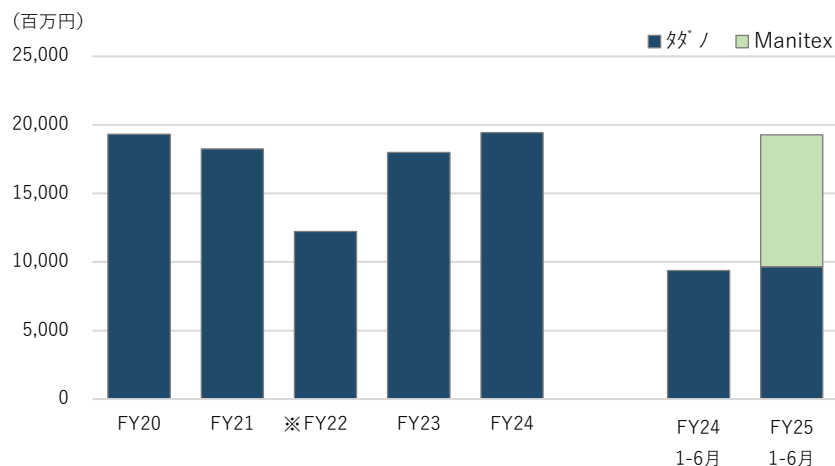
	24年 1-6月	25年 1-6月	比較増減	
			金額	増減率
日本	8,314	8,929	614	7.4%
海外	1,074	10,350	9,275	862.9%
合計	9,389	19,279	9,890	105.3%



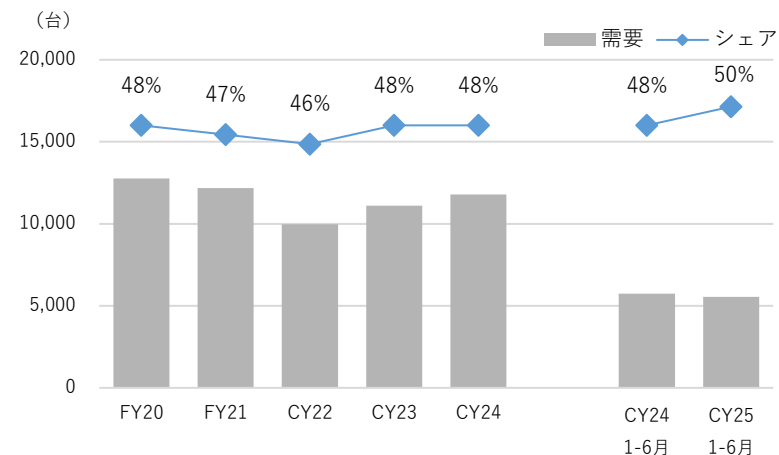
PM Oil & Steel製
ナックルブームクレーン

Manitex Inc.製 ブームトラック

車両搭載型クレーン売上推移(タノ / Manitex)



日本需要・シェア推移



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

※FY:4月～3月、CY:1月～12月

高所作業車

- ✓ トラック架装式高所作業車の拡販により、日本向け売上高が増加
- ✓ Manitex社買収により、海外向け売上高が大幅増

〈地域別売上高〉

(単位：百万円)

	24年 1-6月	25年 1-6月	比較増減 金額	増減率
日本	9,473	11,473	2,000	21.1%
海外	660	2,650	1,989	301.3%
合計	10,133	14,123	3,989	39.4%



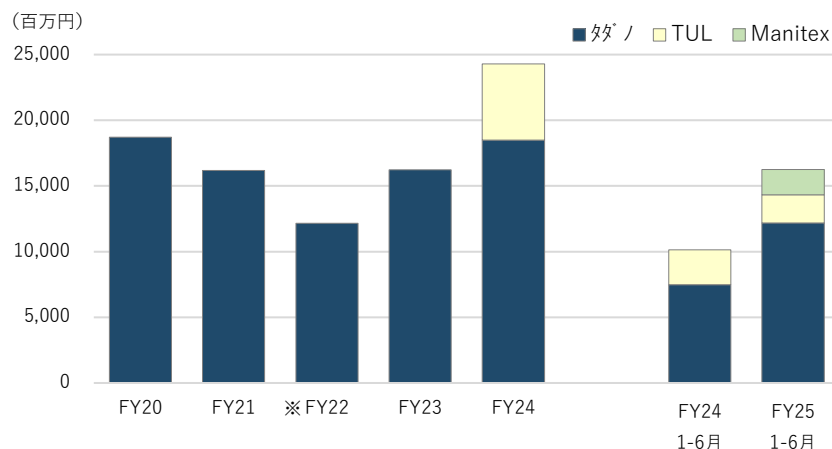
TUL製 自走式高所作業車

※TUL=タダノユーティリティ

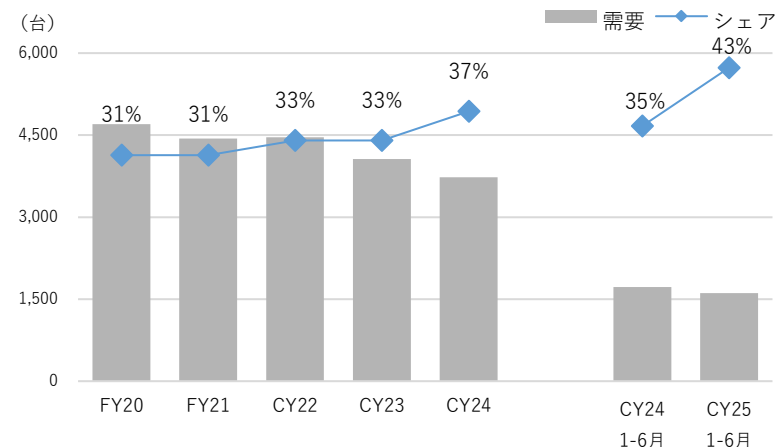


PM Oil & Steel製
トラック架装式高所作業車

高所作業車売上高推移(タダノ / TUL / Manitex)



日本需要・シェア推移(トラック架装式)



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

※FY:4月～3月、CY:1月～12月

その他

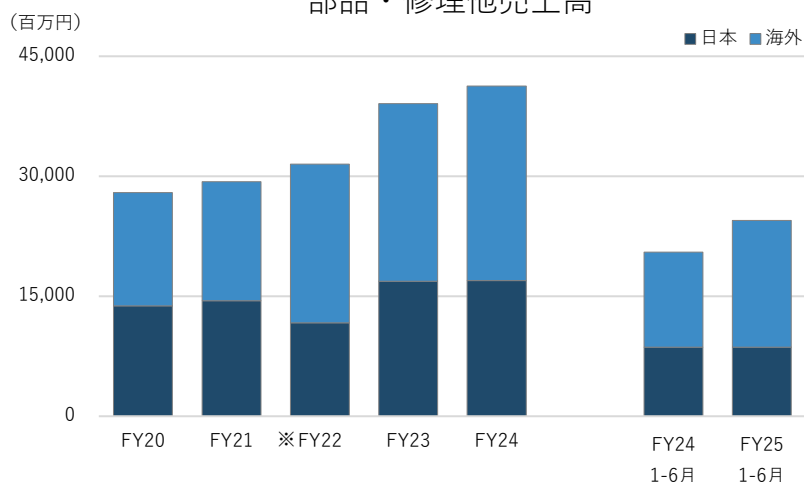
✓ 部品・修理の売上高が増加

(単位：百万円)

	24年 1-6月	25年 1-6月	比較増減 金額	増減率
部品・修理他	20,522	24,483	3,960	19.3%
中古クレーン・商品	3,522	3,776	254	7.2%
合計	24,045	28,259	4,214	17.5%



部品・修理他売上高



中古クレーン・商品売上高



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

25年度業績予想

(単位：百万円)

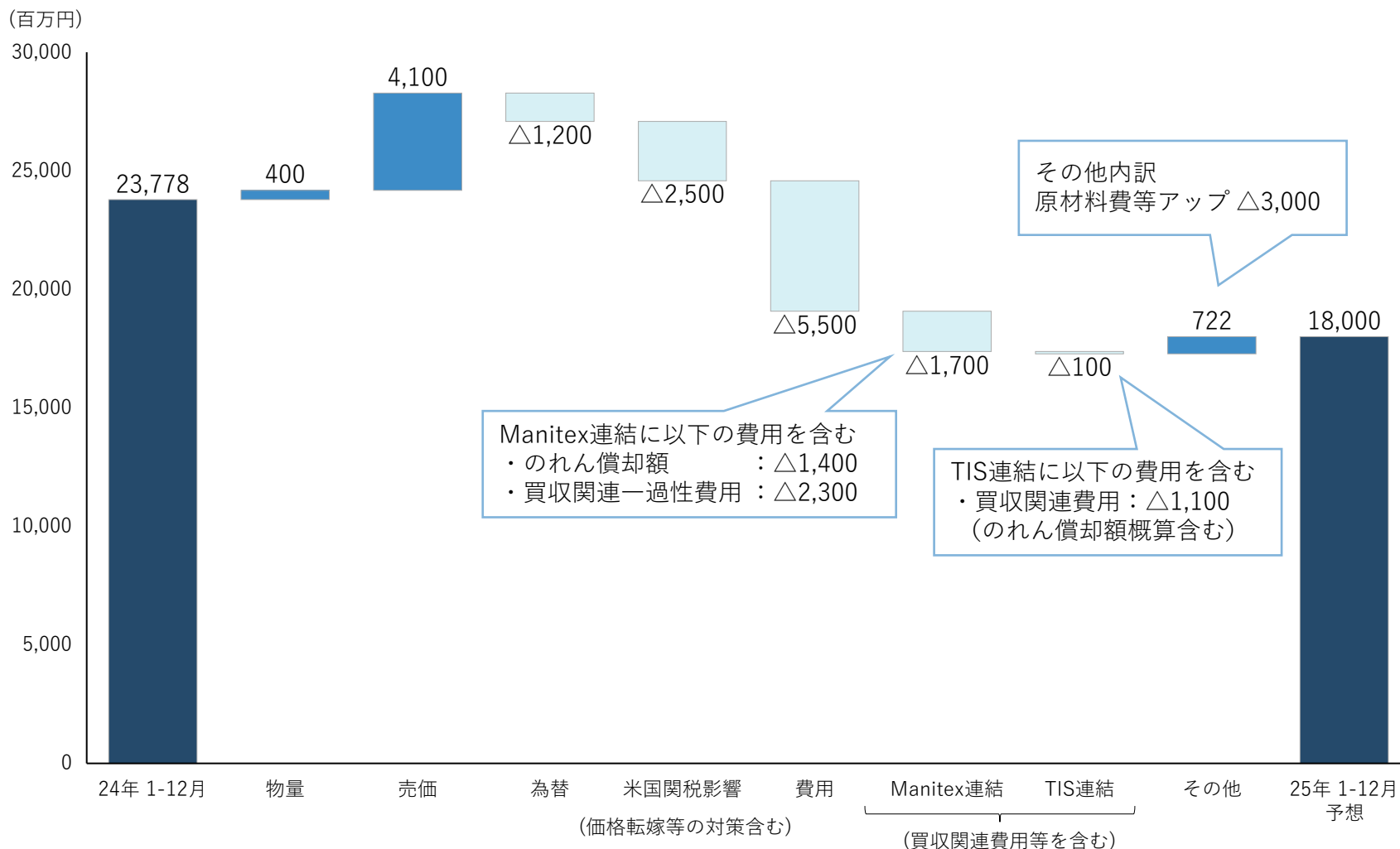
	24年 1-12月		25年 1-12月 予想 (2月14日)		25年 1-12月 予想 (8月8日)		業績予想 比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
売上高	291,500	100%	340,000	100%	355,000	100%	15,000	4.4%
営業利益	23,778	8.2%	24,000	7.1%	18,000	5.1%	△ 6,000	△25.0%
経常利益	21,077	7.2%	20,000	5.9%	14,000	3.9%	△ 6,000	△30.0%
親会社株主当期純利益	6,642	2.3%	15,000	4.4%	15,000	4.2%	-	-
USD	151.6円		148.0円		148.0円 (7月以降)			
EUR	164.0円		155.0円		170.0円 (7月以降)			
1株当たり配当金	中間	10.0円	中間	18.0円	中間	18.0円		
	期末	13.0円	期末	18.0円	期末	18.0円		
	年間	23.0円	年間	36.0円	年間	36.0円		

※2月14日付発表の配当予想は変更していません

上期業績、IHI運搬機械株式会社の運搬システム事業*の買収手続き完了及び米国関税の影響（価格転嫁等の対策含む）等を踏まえ、通期連結業績の見直しを行ったところ、売上高は前回予想を上回るものの、営業利益・経常利益は前回予想を下回る見通しとなりました。これにより、2025年2月14日発表の2025年12月期通期連結業績予想を変更することとしました。なお、7月以降の前提レートは、148.0円/USD・170.0円/EURとしております。

25年度業績予想 営業利益増減要因（前年同期比較）

- ✓ 買収関連費用等の一過性要因やその他費用の増加に加え、米国関税の影響により、営業利益は57億円減少



25年度製品別売上高予想

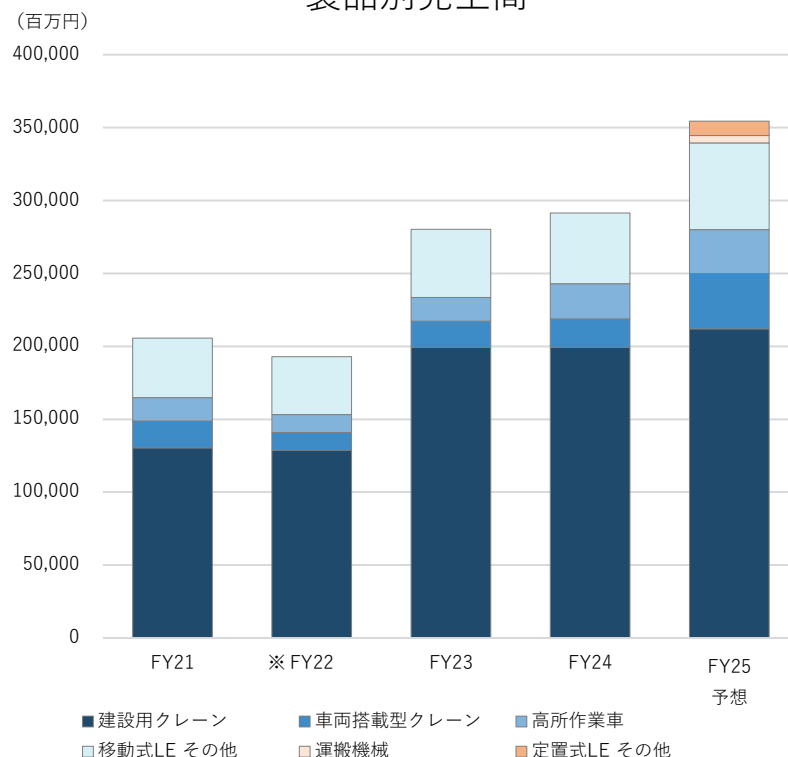
✓ 直近3件のM&Aを反映し、LE事業を構成する製品群を「移動式LE」と「定置式LE」に区分

- 移動式LE： これまで当社が展開してきた製品群
タダノユーティリティ(24年2月)とManitex(25年1月)の製品は移動式LEに含む
- 定置式LE： タダノインフラソリューションズ(25年7月)のグループ化を機に新たに区分
特定の場所に据え付け、所有者が長期間にわたり使用するため、メンテナンス売上が大きい
*メンテナンス売上は「その他」に含む

(単位：百万円)

	24年 1-12月	25年 1-12月 予想	比較増減 金額	増減率
建設用クレーン	199,308	212,000	12,691	6.4%
日本	50,048	47,000	△ 3,048	△6.1%
海外	149,260	165,000	15,739	10.5%
車両搭載型クレーン	19,433	38,000	18,566	95.5%
日本	17,476	17,500	23	0.1%
海外	1,956	20,500	18,543	947.5%
高所作業車	24,283	30,500	6,216	25.6%
日本	22,734	24,500	1,765	7.8%
海外	1,548	6,000	4,451	287.4%
その他	48,474	59,500	11,025	22.7%
移動式LE 小計	291,500	340,000	48,499	16.6%
運搬機械	-	5,000	5,000	-
その他	-	10,000	10,000	-
定置式LE 小計	-	15,000	15,000	-
総計	291,500	355,000	63,499	21.8%

製品別売上高

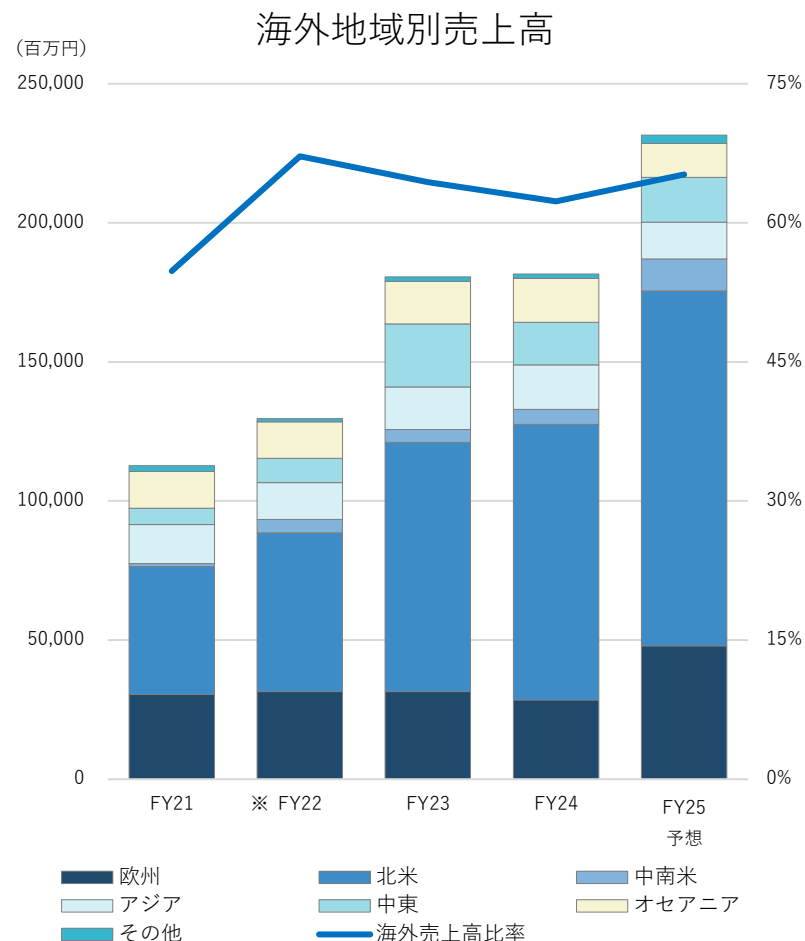


※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

25年度地域別売上高予想

	24年 1-12月	25年 1-12月 予想	(単位：百万円)	
			比較増減 金額	増減率
欧州	28,503	48,000	19,496	68.4%
北米	99,007	127,500	28,492	28.8%
中南米	5,468	11,500	6,031	110.3%
アジア	15,930	13,300	△ 2,630	△16.5%
中東	15,292	16,000	707	4.6%
オセアニア	15,798	12,200	△ 3,598	△22.8%
その他	1,653	3,000	1,346	81.4%
小計（海外計）	181,654	231,500	49,845	27.4%
日本	109,845	123,500	13,654	12.4%
合計	291,500	355,000	63,499	21.8%
海外売上高比率	62.3%	65.2%		

※売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。



※グラフには日本を含んでおりません。
 ※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。
 ※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、
 FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
 また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。